

科目名(単元名) 解剖生理学Ⅰ		配当時期	担当者	
		1年次前期	今野 雅允	
		単位数		
		1単位		
		時間数		
		15時間		
テーマと授業目標				
私たちの身体が、どのように協調しあって維持されているかを学び、解剖生理学を学ぶための基礎を身につける。				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	今野	人体	講義
2	2	今野	細胞	講義
3	2	今野	遺伝子	講義
4	2	今野	血液	講義
5	2	今野	血液	講義
6	2	今野	ホルモン	講義
7	3	今野	ホルモン	講義
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		
科目アピールポイント		人体の構成と生命現象を営む細胞と組織、機関と系統等について、大学などでの教育経験を活かして、より具体的でわかりやすく学ぶことができる。		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名:				
解剖生理学		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名				
トートラ 解剖生理学		丸善		
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント)		・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ		
その他(		)		

科目名(単元名) 解剖生理学Ⅱ		配当時期	1年次前期	担当者 甲斐 理武
		単位数	1 単位	
		時間数	15時間	
テーマと授業目標				
呼吸器系・循環器系(血液を含む)の構成と生理が理解できる。				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	甲斐	呼吸器の構造	講義
2	2	甲斐	呼吸	講義
3	2	甲斐	呼吸・血液	講義
4	2	甲斐	血液・循環器の構成	講義
5	2	甲斐	心臓の構造	講義
6	2	甲斐	心臓の拍出機能・末梢循環系の構造	講義
7	2	甲斐	末梢循環系の構造・血液の循環の調節	講義
8	1	甲斐	血液の循環の調節・リンパとリンパ管	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		
科目アピールポイント		呼吸・循環器系の構成、各部位の構造と機能について、大学においても教授されてていることで、より詳しく学ぶことができる。		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名:				
①人体の構造と機能「解剖生理学」		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名				
人体の正常構造と機能		日本医事新報社		
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ				
その他()				

科目名(单元名) 解剖生理学Ⅲ		配当時期	担当者	
		1年次前期	赤松 香奈子	
		単位数		
		時間数		
		1 単位		
		15時間		
テーマと授業目標				
・消化器系の形態構造とその機能について習得する。				
・医療専門職として必要な消化器系の構造と機能を適切な専門用語を用いて説明できることを目標とする				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	4	赤松	口～食道～胃	講義
2	3	赤松	胃～大腸～肛門	講義
3	4	赤松	肝・胆・膵	講義
4	4	赤松	消化酵素	講義
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（100点）		
科目アピールポイント		消化器系の構成、各部位の構造と機能について、大学での講義で解剖生理学を教授していることもあり、より具体的でわかりやすく学ぶことができる。		
使用図書（テキスト）		出版元		
図書名：				
解剖生理学		医学書院		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
（パワーポイント） ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ				
その他（ ）				

科目名(単元名) 解剖生理学Ⅳ		配当時期	担当者	
		1年次前期	赤松 香奈子	
		単位数		
		時間数		
		1 単位		
		15時間		
テーマと授業目標				
・からだの指示と運動を担う運動系について、骨、筋の名称を正しく習得する				
・また、これらの形態構造や機能を関連付けて理解し、説明できることを目標とする				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	4	赤松	骨・筋について 骨格：体幹	講義
2	4	赤松	骨格：胸郭、上肢 筋：背部 胸部 上肢	講義
3	4	赤松	骨筋：下肢	講義
4	3	赤松	頭部の骨、筋	講義
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		
科目アピールポイント		医学系大学において研究院としての職務に就きながら大学の講師として解剖生理学を教授している。骨格・骨格筋系の構成、各部位の構造と機能について、より具体的にわかりやすく学ぶことができる。		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名：				
解剖生理学		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ				
その他()				

科目名(単元名) 解剖生理学Ⅴ		配当時期	1年次後期	担当者 甲斐 理武
		単位数	1 単位	
		時間数	15時間	
テーマと授業目標				
神経系(自律神経系・感覚器を含む)の構成と生理が理解できる。				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	甲斐	神経系の構造と機能 脊髄と脳	講義
2	2	甲斐	脊髄と脳 脊髄神経と脳神経	講義
3	2	甲斐	脊髄神経と脳神経	講義
4	2	甲斐	脳神経の構造と機能	講義
5	2	甲斐	脳の高次機能 運動機能と下行伝導路	講義
6	2	甲斐	感覚機能と上行伝導路 眼の構造と視覚	講義
7	2	甲斐	目の構造と視覚 耳の構造と聴覚・平衡覚	講義
8	1	甲斐	耳の構造と聴覚・平衡覚 味覚と嗅覚 痛み(疼痛)	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		
科目アピールポイント		脳神経・感覚器系の構成、各部位の構造と機能について、大学においても教授されていることで、より詳しく学ぶことができる。		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名:				
①人体の構造と機能「解剖生理学」		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名				
人体の正常構造と機能		日本医事新報社		
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ				
その他()				

科目名(单元名) 解剖生理学Ⅵ		配当時期	担当者	
		1年次前期	赤松 香奈子	
		単位数		
		時間数		
		1 単位		
		15時間		
テーマと授業目標				
・泌尿器および生殖器系の形態構造と機能について習得する ・また、関連機関と合わせて理解し、説明できることを目標とする。				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	1	赤松	泌尿器：腎臓	講義
2	4	赤松	泌尿器：尿路・膀胱	講義
3	4	赤松	生殖器：男性	講義
4	2	赤松	生殖器：女性	講義
5	4	赤松	性同期発生	講義
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（100点）		
科目アピールポイント		腎・泌尿器系の構成、各部位の構造と機能について、大学の講師として解剖生理学を教授している経験から、より具体的でわかりやすく学ぶことができる。		
使用図書（テキスト）		出版元		
図書名：				
解剖生理学		医学書院		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
（パワーポイント） ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ				
その他（ ）				

科目名(单元名) 病理学		配当時期 1年次前期 単位数 1単位 時間数 30時間	担当者 藤岡 正喜	
テーマと授業目標 ・ヒトが疾患に罹患する原因とその機序を総論的に学ぶ ・病態別(先天異常、代謝障害、循環障害、炎症、免疫、感染症、腫瘍、老化、死)に整理された知識を得る				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	4	藤岡	病因論	講義
2	4	藤岡	組織：細胞の傷害と修復応答	講義
3	4	藤岡	先天異常	講義
4	4	藤岡	代謝障害(脂質・たんぱく・糖・その他)	講義
5	4	藤岡	循環障害	講義
6	4	藤岡	炎症と免疫	講義
7	4	藤岡	院内感染 腫瘍	講義
8	2	藤岡	腫瘍の診断と治療 老化と死	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		
科目アピールポイント		奇形や退行性病変、進行性病変、炎症、腫瘍等病変についての病理学を、大学においても教鞭をしている経験もあり、疾病の成り立つ基礎としての病理学について学ぶことができる。		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名： 病理学・病態生理学		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他()				

科目名(单元名) 臨床病態学Ⅰ		配当時期 1年次前期 単位数 1単位(30時間中) 時間数 12時間	担当者 麥谷 安津子	
テーマと授業目標 1.造血と血球成分の仕組みを修得する 2.血液型、止血、輸血について修得する 3.血液疾患について総論、各論を学ぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	麥谷	造血の仕組み 検査 診断	講義
2	2	麥谷	貧血	講義
3	2	麥谷	造血幹細胞移植 急性白血病	講義
4	2	麥谷	慢性白血病 悪性リンパ腫 骨髄腫	講義
5	2	麥谷	出血性疾患 DIC	講義
6	2	麥谷	国家試験 過去問	講義
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(40点／100点)		
科目アピールポイント		血液・造血器系の障害の病態生理と検査・治療を長年の臨床医としての経験や多くの事例から、より具体的に解りやすく学ぶことができる。		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 血液・造血器		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・(ビデオ) ・スライド ・CD ・カセットテープ その他()				

科目名(単元名) 臨床病態学Ⅰ		配当時期 1年次後期 単位数 1単位(30時間中) 時間数 18時間	担当者 三島 隆一郎	
テーマと授業目標 ・アレルギー、膠原病についての基礎知識を学ぶ ・両社における主な疾患、検査、治療法を学び、臨床看護において必要とされる知識を身につける。				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	三島	アレルギー：免疫の仕組みとアレルギー 検査と治療	講義
2	2	三島	アレルギー：症状と疾患の理解	講義
3	2	三島	膠原病：自己免疫疾患とその機序 症状とその病態理解	講義
4	2	三島	膠原病：検査と治療 疾患の理解①	講義
5	2	三島	膠原病：疾患の理解②	講義
6	2	三島	感染症：感染症とは	講義
7	2	三島	感染：検査・診断 治療	講義
8	2	三島	感染症：疾患の理解	講義
9	2	三島	アレルギー、膠原病、感染症のまとめ	講義
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(60点/100点)		
科目アピールポイント		膠原病・アレルギー・感染症疾患の病態生理・検査・治療等を教授した経験と薬剤関係から学んだ経験から具体的で分かりやすく講義を受けることができる。		
使用図書(テキスト) 図書名：系統看護学講座 専門分野 成人看護学Ⅱ アレルギー 膠原病 感染症 医学書院 参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名 出版元				
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・(ビデオ) ・スライド ・CD ・カセットテープ その他()				

科目名(単元名) 臨床病態学Ⅱ		配当時期 1年次後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 30時間	担当者 梅木 茂宣	
テーマと授業目標				
呼吸器の解剖学的位置や生理的機能を学ぶ。 呼吸器に障害が発生したときの、疾患について学ぶ 各疾患ごとに、治療法を学ぶ。また日常生活上の注意点を言える。				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	梅木	呼吸器の機能と構造①	講義
2	2	梅木	呼吸器の機能と構造②	講義
3	2	梅木	症状とその病態生理①	講義
4	2	梅木	症状とその病態生理②	講義
5	2	梅木	疾患の理解①	講義
6	2	梅木	疾患の理解②	講義
7	2	梅木	検査・処置①	講義
8	2	梅木	検査・処置②	講義
9	2	梅木	疾患の理解③	講義
10	2	梅木	疾患の理解④	講義
11	2	梅木	疾患の理解⑤	講義
12	2	梅木	疾患の理解⑥	講義
13	2	梅木	疾患の理解⑦	講義
14	2	梅木	疾患の理解⑧	講義
15	2	梅木	疾患の理解⑨	講義
評価方法		筆記試験(100点)		
科目アピールポイント		呼吸器系の病態生理・検査・治療等大学での教育経験を活かすとともに、臨床医としても長年の経験から具体的に解りやすく学ぶことができる。		
使用図書(テキスト) 図書名: 系統看護学講座 呼吸器			出版元 医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他()				

科目名(单元名) 臨床病態学Ⅲ		配当時期 1年次後期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 30時間	担当者 田口 晴之	
テーマと授業目標 1.心臓、脈管の構造機能の理解 2.循環器疾患の病態の理解 3.循環器疾患の診断・検査・治療の理解				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	田口	身体所見・心電図	講義
2	2	田口	検査 (レントゲン、心エコー、心カテ)	講義
3	2	田口	不整脈	講義
4	2	田口	心電図・検査まとめ	講義
5	2	田口	症候と疾患	講義
6	2	田口	心不全①	講義
7	2	田口	心不全②	講義
8	2	田口	心不全の臨床	講義
9	2	田口	先天性心疾患 動脈疾患	講義
10	2	田口	虚血性心疾患 1	講義
11	2	田口	虚血性心疾患 2	講義
12	2	田口	高血圧	講義
13	2	田口	循環器疾患	講義
14	2	田口	大動脈疾患 先天性心奇形	講義
15	2	田口	疾患まとめ	講義
評価方法		筆記試験 (100点)		
科目アピールポイント		循環器系の障害の病態生理・検査・治療について、多くの臨床医としての経験を活かし、ビデオや心電図などの波形などを交えて講義が受けられることが解りやすく学ぶことができる。		
使用図書 (テキスト) 図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学③ 循環器			出版元 医学書院	
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()				

科目名(単元名) 臨床病態学Ⅳ		配当時期 1年次後期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 15時間	担当者 石橋 浩平	
テーマと授業目標 ・消化器系臓器の基本的理解 ・消化器系疾患の診断、検査、治療の流れの理解				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	石橋	食道の解剖生理と疾患	講義
2	2	石橋	胃の解剖生理と疾患①	講義
3	2	石橋	胃の解剖生理と疾患②	講義
4	2	石橋	大腸の解剖生理と疾患	講義
5	2	石橋	脾の解剖生理と疾患	講義
6	2	石橋	胆嚢の解剖生理と疾患	講義
7	3	石橋	肝臓の解剖生理と疾患	講義
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（50点／100点）		
科目アピールポイント		消化器専門の臨床医として長年経験し、多くの専門医や内視鏡などの資格を得ている。消化器の内科の専門性や学ぶことへの向上性も学ぶことができる。		
使用図書（テキスト） 図書名： 専門Ⅱ 成人看護学(5)消化器		出版元 医学書院		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名		出版元		
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他（ ）				

科目名(単元名) 臨床病態学Ⅳ		配当時期 1年次後期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 15時間	担当者 内間 恭武	
テーマと授業目標 ・消化器疾患の病態・治療について看護に必要な知識を習得。				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	内間	外科総論(侵襲と生体の反応)	講義
2	2	内間	外科総論(腫瘍、ショック、呼吸、栄養管理)	講義
3	2	内間	上部消化管	講義
4	2	内間	上部消化管	講義
5	2	内間	下部消化管	講義
6	2	内間	下部消化管	講義
7	2	内間	外科各論 肝 胆 膵 乳腺	講義
8	1	内間	問題演習	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(50点/100点)		
科目アピールポイント		臨床外科医として長年の経験を有し、最先端の外科手術にも取り組んでいることから、外科的治療への興味・関心が持て、意欲的に学ぶことができる。		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名:				
臨床外科看護総論・各論		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ				
その他()				

科目名(単元名) 臨床病態学Ⅴ		配当時期 1年次後期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 16時間	担当者 成瀬 裕恒	
テーマと授業目標				
・解剖学の基礎知識に元好き、障害された部位による疾患の体系的な分類及び障害の原因による分類を学ぶ。 ・看護実践に活かしていけるように、各疾患の病態や疾患の特徴、症状、治療法、予後などを学ぶ。				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	成瀬	脳神経外科学総論：頭頸部解剖と神経生理	講義
2	2	成瀬	症状とその病態生理	講義
3	2	成瀬	検査・診断と治療・処置	講義
4	2	成瀬	疾患の理解① 脳(卒中)筋疾患、脱髄・変性疾患、中毒、認知症、内科疾患に伴う神経疾患	講義
5	2	成瀬	疾患の理解② 脳(腫瘍、外傷、水頭症)、脊髄疾患、末梢神経疾患、てんかん	講義
6	2	成瀬	脳卒中について	講義
7	2	成瀬	脳神経外科学各論①：脳血管障害、水頭症、脳腫瘍	講義
8	2	成瀬	脳神経外科学各論②：外傷、脊髄疾患、末梢神経	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(53点／100点)		
科目アピールポイント		脳神経系の病態生理・検査・治療を外科的な手術治療を臨床医として経験し、身体の侵襲や術後の経過についても解りやすく講義を受けることができる。		
使用図書(テキスト) 図書名：専門Ⅱ 成人看護学(7)脳・神経疾患 別巻2 臨床外科看護各論			出版元 医学書院 医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他()				

科目名(単元名) 臨床病態学Ⅴ		配当時期 1年次後期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 14時間	担当者 脇田 重明	
テーマと授業目標 ・四肢及び脊椎疾患の病態と治療について学ぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	脇田	運動器疾患総論	講義
2	2	脇田	骨折総論	講義
3	2	脇田	骨折各論	講義
4	2	脇田	脱臼 神経損傷 膝内障	講義
5	2	脇田	先天性疾患 関節リウマチ	講義
6	2	脇田	変形性股関節症 骨腫瘍	講義
7	2	脇田	脊椎疾患 フレイル サルコペニア ロコモ 廃用症候群	講義
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(47点／100点)		
科目アピールポイント		骨格・骨格筋系の障害の病態生理・検査・治療がわかるように、臨床医としての経験を活かし、具体的な事例を踏まえてわかりやすく講義を受けることができる。		
使用図書(テキスト) 図書名: 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学⑩(運動器)			出版元 医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他()				

科目名(単元名) 臨床病態学Ⅵ		配当時期 1年次後期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 6時間	担当者 三島 壮一郎	
テーマと授業目標 ・感覚器系の傷害の病態生理・検査・治療を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	三島	白内障・屈折異常	講義
2	2	三島	緑内障・角膜・結膜疾患	講義
3	2	三島	網膜硝子体疾・屈折 (矯正)	講義
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験 (20点／100点)		
科目アピールポイント		眼科での臨床医としての経験から眼の病態生理・検査・治療について、より具体的に学ぶことができる。また、手術等の事例からより分かりやすく講義を受けることができる。		
使用図書 (テキスト)		出版元		
図書名： 専門分野Ⅱ 「眼」 成人看護学 1 3		医学書院		
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・ (OHP) ・ (ビデオ) ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ				
その他 ()				

科目名(単元名) 臨床病態学Ⅵ		配当時期 1年次後期	担当者 清水 智之	
		単位数 1 単位 (30時間) 時間数 8 時間		
テーマと授業目標 ・感覚器系障害の病態生理・検査・治療を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	清水	コロナ対策について、耳の解剖、正常、病気について	講義
2	2	清水	フローについて、鼻の解剖、正常、病気について	講義
3	2	清水	ボトルネックについて、咽頭・喉頭の解剖、正常、病気について	講義
4	2	清水	口頭の病気について、生体ポリープの手術供覧	講義
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験 (27点／100点)		
科目アピールポイント				
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座専門分野Ⅱ 「耳鼻咽喉」成人看護学14		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ				

科目名(単元名) 臨床病態学Ⅵ		配当時期 1年次後期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 8時間	担当者 石黒 真理子	
テーマと授業目標 ・皮膚という1つの臓器に着目し、皮膚科の見方・考え方に触れ、特に頻度の高い皮膚科疾患や、看護において重要な疾患を知り習得する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	石黒	皮膚科総論（構造機能、生理、検査、治療）	講義
2	2	石黒	各論（失神皮膚炎群、紅斑症、薬疹、角化症、皮膚腫瘍など）	講義
3	2	石黒	各論（感染症）	講義
4	2	石黒	各論（熱傷、褥瘡、膠原病）	講義
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（27点／100点）		
科目アピールポイント		大学で皮膚科を専攻し、約3年間大学で皮膚学の教鞭に携わり、臨床医として皮膚科の専門医で、多くの事例などから皮膚弛緩の病態が理解できることが期待できる。		
使用図書（テキスト） 図書名看護学（12） 皮膚		出版元 医学書院		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名		出版元		
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他（ ）				

科目名(単元名) 臨床病態学Ⅴ		配当時期 1年次後期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 8時間	担当者 岩月 勇一郎	
テーマと授業目標				
・歯・口腔の構造と機能の理解および歯・口腔の病態を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	岩月	歯：航空の構造と機能についての学び、歯、口腔疾患との関係を理解する	講義
2	2	岩月	歯・口腔疾患に伴う主な症状とその発生機序・病態生理について学ぶ	講義
3	2	岩月	主な歯・口腔疾患。病態生理を理解し、看護を行う上で、必要な基礎知識を習得する	講義
4	2	岩月	口腔ケアの目的と必要性について学ぶ	講義
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(26点／100点)		
科目アピールポイント		歯科医として3年経験し、自ら開業医として28年になる。多くの歯・口腔の歯科治療を行う中での経験から歯・口腔についての病態を教授していただくことができる。		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名：				
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ				
その他()				

科目名(単元名) 臨床病態学Ⅶ		配当時期 1年次後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 8時間	担当者 出口 昌昭	
テーマと授業目標				
1) 女性生殖器の構造と機能 2) 女性生殖器疾患の症状と病態生理、診察・検査と処置 3) 女性生殖器疾患・性感染症の理解				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	出口	1) 女性生殖器の構造と機能 2) 症状とその病態生理 3) HPVと子宮頸がん	講義
2	2	出口	4) 診察・検査と治療・処置 5) 疾患の理解	講義
3	2	出口	6) 臓器別疾患	講義
4	2	出口	7) 機能的疾患	講義
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(27点/100点)		
科目アピールポイント		女性生殖器系の障害の病態生理・検査・治療を臨床医としての経験から、より分かりやすく教授していただくことができる。		
使用図書(テキスト) 図書名: 系統看護学講座 専門Ⅱ 女性生殖器 成人看護学⑨			出版元 医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・(スライド) ・CD ・カセットテープ その他()				

科目名(単元名) 臨床病態学Ⅶ		配当時期 1年次後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 12時間	担当者 岡崎 裕樹	
テーマと授業目標				
1.生命の維持に必須の役割を担う腎・泌尿器にしくみと働きを男性生殖器と併わせて学習する 2.症状の発生する原因、その病態生理を学び、原疾患との関連を理解して「患者の看護」につながるように基礎を学習する 3.主要疾患の基本的な知識(原因・症状・治療)を学習する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	岡崎	腎・泌尿器の構造と機能	講義
2	2	岡崎	腎・泌尿器 症状と病態生理	講義
3	2	岡崎	診察と検査	講義
4	2	岡崎	腎疾患の治療と処置、透析療法について	講義
5	2	岡崎	腎不全・腎炎	講義
6	2	岡崎	腎疾患	講義
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(40点／100点)		
科目アピールポイント		腎・泌尿器系の障害の病態生理・検査・治療を臨床の現場で実践している医師によって、より分かりやすい教授内容として受けることができる。		
使用図書(テキスト) 図書名:成人看護学 腎泌尿器疾患患者の看護 解剖生理学			出版元 医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名 病理学			出版元 医学書院	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他()				

科目名(单元名) 臨床病態学Ⅶ		配当時期 1年次後期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 10時間	担当者 梅木 茂宣	
テーマと授業目標 ・代謝の整理と病態および、その疾患と理解				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	梅木	内分泌 器官の構造と機能 ①	講義
2	2	梅木	内分泌 器官の構造と機能 ②	講義
3	2	梅木	内分泌 器官の構造と機能 ③	講義
4	2	梅木	内分泌 疾患の理解①	講義
5	2	梅木	内分泌 疾患の理解②	講義
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験 (33点／100点)		
科目アピールポイント		内分泌・代謝疾患の病態生理・検査・治療を内科医としての臨床経験と大学での教育経験を活かし、より分かりやすく学ぶことができる。		
使用図書 (テキスト) 図書名：系統看護学講座 内分泌・代謝			出版元 医学書院	
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ (スライド) ・ CD ・ カセットテープ その他 ()				

科目名(単元名) 生化学		配当時期 1年次後期 単位数 1 単位 時間数 30時間	担当者 今野 雅允	
テーマと授業目標 ・人体の構成成分である化学物質の構造・機能・性質・代謝を学び、生命現象の仕組みを理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	4	今野	細胞・生体成分・組織・器官	講義
2	4	今野	糖からのエネルギー産生	講義
3	4	今野	脂肪酸	講義
4	4	今野	アミノ酸	講義
5	4	今野	核酸	講義
6	4	今野	体液 ホルモン	講義
7	4	今野	腎臓 免疫	講義
8	2	今野	全体まとめ	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（100点）		
科目アピールポイント		人体の構成成分である科学物質の構造・機能・性質・代謝等学び、生命現象の仕組みを理解する目標は、講師の研究分野でもあり、さらに具体的に解りやすく教授していただくことができ、解りやすく学ぶことができる。		
使用図書（テキスト） 図書名わかりやすい生化学			出版元 ヌーベルヒロカワ	
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）				

科目名(単元名) 微生物学		配当時期	担当者	
		1年次前期	三島 隆一郎	
		単位数		
		1単位		
		時間数		
		15時間		
テーマと授業目標				
・看護学を学ぶ学生として最低限必要な微生物に関する知識を習得し、上級学年に進級後あるいは臨床の場で微生物に関わる疑問が生じたときに必要に応じて教科書、専門書、論文などを参照して理解できることを目指す				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	三島	微生物学の概要	講義
2	2	三島	微生物各論 細菌①	講義
3	2	三島	微生物各論 細菌② 生体防御に関する基礎 腸管出血性大腸菌 細菌性食中毒	例 講義
4	2	三島	ウイルス①	講義
5	2	三島	ウイルス② 真菌 原虫 レトロウイルス	講義
6	2	三島	プリオン 微生物の増殖に及ぼす因子	講義
7	2	三島	免疫の概要 免疫担当細胞 免疫応答 抗原 抗体 抗毒素	講義
8	1	三島	ワクチン アレルギー	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（100点）		
科目アピールポイント		微生物の特徴と生体に及ぼす影響、免疫、疾病やその予防、治療との関連を、講師の教育経験からより具体的に教授していただき、最近ではCOVID19についても詳しく学ぶことができる。		
使用図書（テキスト）		出版元		
図書名： 系統看護学講座 微生物学		医学書院		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ				
その他（ DVD ）				

科目名(単元名) 薬理学		配当時期 1年次後期 単位数 1単位 時間数 30時間	担当者 川崎 奈美江	
テーマと授業目標 ・薬物の作用、副作用や投与の際の注意点を十分に理解することは薬物治療の成果を得るために重要であり、かつ医療事故の防止にも寄与する 総論では、薬物一般に共通する知識を学習する 各論では、疾患の治療に用いる薬物の作用、有害作用、禁忌などを学習する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	川崎	薬理学総論 1	講義
2	2	川崎	薬理学総論 2	講義
3	2	川崎	薬理学総論 3	講義
4	2	川崎	末梢神経 1・2 輸液	講義
5	2	川崎	中枢神経 1	講義
6	2	川崎	中枢神経 2 血液製剤	講義
7	2	川崎	心・血管系作用薬 1	講義
8	2	川崎	心・血管系作用薬 2	講義
9	2	川崎	抗感染症薬	講義
10	2	川崎	抗がん剤	講義
11	2	川崎	抗がん剤、血液に作用する薬物	講義
12	2	川崎	血液に作用する薬物、物質代謝に作用する薬物	講義
13	2	川崎	物質代謝に作用する薬物	講義
14	2	川崎	抗アレルギー・抗炎症薬	講義
15	2	川崎	呼吸器、消化器、皮膚科、眼科薬	講義
評価方法		筆記試験（100点）		
科目アピールポイント		薬物の特徴、作用機序、人体への影響、副作用及び薬物の管理など、臨床で薬剤師としての専門的な経験を講義していただくことで学びを深めることができる。		
使用図書（テキスト） 図書名：系統看護学講座 薬理学		出版元 医学書院		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名		出版元		
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）				

科目名(単元名) 栄養学		配当時期	担当者	
		1年次後期	藤川 喜久子	
		単位数		
		1 単位		
		時間数		
		15時間		
テーマと授業目標				
健康の保持・増進・疾病の予防、治療における栄養素の役割を理解し、栄養素の代謝およびエネルギーなどの生理的意義を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	藤川	第1章 人間栄養学と看護	講義
2	2	藤川	第2章 栄養素の種類とはたらき	講義
3	2	藤川	第3章 食物の消化と栄養素の吸収・代謝	講義
4	2	藤川	第4章 エネルギー代謝	講義
			第5章 日本人の食事摂取基準	
5	2	藤川	第6章 栄養ケアマネジメント	講義
			第7章 栄養状態の評価・判定	
6	2	藤川	第8章 ライフステージと栄養	講義
7	2	藤川	第9章 臨床栄養	講義
8	1	藤川	糖尿病交換表の使いかた	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（100点）		
科目アピールポイント		人の生命の維持、生長、臓器・組織の正常な機能の維持、エネルギー産生のために必要な栄養素とその適正量、合理的な摂取方法を、今までの大学での講義と同じように受講することができる。		
使用図書（テキスト） 図書名：栄養学		出版元 医学書院		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名 生化学、生理学、解剖などの教科書		出版元		
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ DVD ）				

科目名(単元名) 精神医学	配当時期	2 年次前期			担当者 利田 泰之
	単位数	1 単位			
	時間数	15時間			
テーマと授業目標					
精神看護学や精神症状および障害、精神に関わる法律、制度について					
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）		授業方法
1	2	利田	精神症状論と状態像 思考の流れの障害と思考の形成障害 感情の障害 病的抑うつ気分		講義
2	2	利田	意識の障害 知覚の障害 その他の感情障害		講義
3	2	利田	意識障害 記憶の障害 失語・失認・失行 精神障害の分類と診断		講義
4	2	利田	統合失調症 気分障害		講義
5	2	利田	気分障害の治療 神経症性障害 恐怖症性不安障害 強迫性障害 重度ストレス反応および適応障害 解離性障害		講義
6	2	利田	身体的要因に関連した行動症候群 摂食障害 睡眠障害 性機能不全 パーソナリティ障害 器質性精神障害		講義
7	2	利田	認知症 （アルツハイマー型・血管性・前頭側頭型・レビー小体型） 認知症を伴う行動心理症状とせん妄		講義
8	1	利田	精神作用物質使用による精神および行動の障害 アルコール賞について 治療・離脱症状 アルコール精神病		講義
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法		筆記試験（100点）			
科目アピールポイント		現代病ともいえる心の病について、精神科の臨床医としての経験を、より具体的に学生にわかりやすく、見えない心の病が可視化できるような講義をもって学ぶことができる。			
使用図書（テキスト） 図書名：精神看護の基礎			出版元 医学書院		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名			出版元		
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他（ ）					

科目名(単元名) 公衆衛生学Ⅰ		配当時期 2 年次後期 単位数 1 単位 時間数 15時間	担当者 迎 恵美子	
テーマと授業目標 公衆衛生学の知識・技術を習得し、看護分野におけるその意義を考える				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	迎	公衆衛生とは 健康の定義 薬剤耐性 ワンヘルスアプローチ	講義
2	2	迎	日本における公衆衛生 プライマリヘルスケア ヘルスプロモーション 社会集団をとらえる視座	講義
3	2	迎	公衆衛生の仕組み 政策展開 高2と地方自治体の役割 専門職の働き 多職種協働	講義
4	2	迎	環境と健康	講義
5	2	迎	COVID-19の世界での流行 感染症とその予防策	講義
6	2	迎	国際保健	講義
7	2	迎	集団健康を捉えるための手法 一疫学・保健統計	講義
8	1	迎	公衆衛生の場での疫学 母子保健	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（100点）		
科目アピールポイント		人間とその環境との関係、疫学、衛生統計など大学で学んだ知識をより実践的に伝授していた だき、公衆衛生の概念を深めることができる。		
使用図書（テキスト） 図書名：専門基礎分野「公衆衛生」 健康支援と社会保障制度②			出版元 医学書院	
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名 「国民の動向」 「国民健康・栄養調査」「国民生活基礎調査」			出版元 一般財団厚生労働統計協会 厚生労働省ホームページ	
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・OHP ・（ビデオ） ・スライド ・CD ・カセットテープ その他（ ）				

科目名(単元名) 公衆衛生学Ⅱ		配当時期 2 年次後期 単位数 1 単位 時間数 15時間	担当者 迎 恵美子	
テーマと授業目標 公衆衛生学の知識・技術を習得し、看護分野におけるその意義を考える				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	迎	母子保健	講義
2	2	迎	成人保健	講義
3	2	迎	高齢者保健 歯科保健	講義
4	2	迎	精神保健 難病・障がい者保健	講義
5	2	迎	感染症対策各論	講義
6	2	迎	感染症対策各論 学校保健	講義
7	2	迎	産業保健	講義
8	1	迎	健康危機管理・災害保健	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（100点）		
科目アピールポイント		現代社会における地域の公衆衛生の実践について、講師が保健所などで活動してきた経験を活かしてより深く具体的に学ぶことができる		
使用図書（テキスト） 図書名：専門基礎分野「公衆衛生」 健康支援と社会保障制度②			出版元 医学書院	
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名 「国民の動向」 「国民健康・栄養調査」「国民生活基礎調査」			出版元 厚生労働省ホームページ	
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・ OHP ・ ビデオ ・ （スライド） ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）				

科目名(単元名) 社会福祉Ⅰ		配当時期 2 年次前期 単位数 1 単位 時間数 15時間	担当者 和田 光徳	
テーマと授業目標 1.社会保障・社会福祉制度についての基礎的知識を習得する 2.病にある人と、その家族に対する生活支援仮定(社会福祉支援仮定)を通じて、福祉の統合的視点を深める 3.看護展開における社会的支援のための基本知識を習得する 4.国家試験に対応する知識を習得する				
習得する	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	和田	社会福祉とは(福祉の成り立ち) 社会福祉と看護 社会保障と社会福祉	講義
2	2	和田	社会福祉の法制度 「ふくしのこころ」とソーシャルネットワーク	講義
3	2	和田	「ふくしのこころ」 社会福祉のサービス 種類と内容	講義
4	2	和田	現代社会の変化 (技術革新 産業構造の変化 ライフサイクル の変化)	講義
5	2	和田	現代社会の変化(ライフサイクルの変化 社会経済の変化)	講義
6	2	和田	医療保障 ・医療保険の沿革 ・医療法について	講義
7	2	和田	医療保障 ・医療保険制度と地域医療連携	講義
8	1	和田	所得保障 ・年金保険制度・雇用保険制度	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		
科目アピールポイント		社会福祉制度や社会福祉の保障制度について、大学においても社会福祉を教授されていること で、より深い社会福祉について学ぶことができる。		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 専門基礎分野 「社会保障・社会福祉」 健康支援と社会保障制度③		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他(DVD)				

科目名(单元名) 社会福祉Ⅱ		配当時期 2 年次後期 単位数 1 単位 時間数 15時間	担当者 和田 光徳	
テーマと授業目標				
1.介護保険、公的扶助、高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉の各分野の実態と課題の理解 2.医療分野における社会福祉援助の理解 3.多職種連携の実際と重要性の理解				
習得する	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	3	和田	第4章 介護保険（介護保険創設の背景 介護保険制度の概要）	講義
2	4	和田	第4章 介護保険（地域包括ケアシステム） 第6章 公的扶助（貧困問題と公的扶助、生活保護制度）	講義
3	4	和田	第6章 公的扶助（生活保護） 第7章 社会福祉サービス（高齢者 障がい者）	講義
4	4	和田	第7章 社会福祉サービス（児童 ひとり親） 第8章 社会福祉実践と医療・看護	講義
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（100点）		
科目アピールポイント		国民の福祉ニーズを知り、そのニーズに応えるための方法や制度、サービスの活用や関係する人々との連携等、臨床で経験したことをふまえて教授していただくことができる。		
使用図書（テキスト） 図書名：専門基礎分野 「社会保障・社会福祉」 健康支援と社会保障制度③			出版元 医学書院	
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他（ DVD ）				

科目名(単元名) 関係法規Ⅰ		配当時期 2 年次後期 単位数 1 単位 (15時間) 時間数 15時間	担当者 中井 菜穂子	
テーマと授業目標				
保健医療福祉に関する諸制度の概要と、それを規定とする諸法令を理解し、看護に関連付けて理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	中井	保健師助産師看護師法について	講義
2	2	中井	保健師助産師看護師法について	講義
3	2	中井	医事法・医療法	講義
4	2	中井	医療法 臨床検査技師な等に関する法律	講義
5	2	中井	医療関係資格法	講義
6	2	中井	保健衛生法	講義
7	2	中井	保健衛生法	講義
8	1	中井	薬務法	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験 (100点)		
科目アピールポイント		保助看法や保健・医療・福祉の中での看護がどのような位置を占め、どのような役割を担っているのかを病院の実務経験を踏まえての講義がわかりやすく学ぶことができる。		
使用図書 (テキスト) 図書名：系統看護学講座 専門基礎分野 「看護関係法令」			出版元 医学書院	
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 (DVD)				

科目名(単元名) 関係法規Ⅱ		配当時期 2 年次前期 単位数 1 単位 時間数 15時間	担当者 石田 裕則	
テーマと授業目標 ・法に関する用語の知識を身につける ・法令の意義を看護や日常生活に関連付けて理解できる ・法令を通して社会に求められている医療・看護がわかる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	石田	環境衛生法	講義
2	2	石田	法の概念	講義
3	2	石田	社会保険法	講義
4	2	石田	社会保険法・介護保険・福祉法	講義
5	2	石田	労働法	講義
6	2	石田	環境法	講義
7	2	石田	環境法	講義
8	1	石田	福祉法（老人福祉法 障害者基本法など） 労働法（労働基準法について）	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（100点）		
科目アピールポイント		人々が健康な生活を維持するために、保健・医療・福祉に関する諸制度の概要を学び、看護に必要な法令を実際の臨床現場での経験を踏まえ、多くの判例を通して学ぶことができる。		
使用図書（テキスト） 図書名：系統看護学講座 専門基礎分野 「看護関係法令」			出版元 医学書院	
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・ OHP ・ ビデオ ・ （スライド） ・ CD ・ カセットテープ その他（ DVD ）				